

Information Processing

電子メールと名刺

高 田 良 宏

私は金沢大学に勤めて10年目になりますが、その大部分を総合情報処理センターで過ごしました。総合情報処理センターでは仕事柄、多数の情報関係の研究者と交流がありました。そのような訳で私の所には、情報関係の研究者の名刺が山のようにたまりました。

その名刺も私が勤め始めた10年前は、ほとんど縦書きのものでしたが、年々横書きのものが増えてきました。最初、外国との交流が盛んになったため、裏面に英語で印刷する為だと思っていました。それも一理あると思いますが、2年前に自分の名刺を作ったときに原因が分かりました。次の一行が縦書きだとしっくりしないのです。

AB0539@JPNKNZW1.BITNET

これは、BITNETと呼ばれる電子メール (electronic mail, 研究者の多くはイーメールと呼ぶ) のアドレスです。この1行のために、多くの情報系の研究者たちは名刺を横書きにしたのです。

その4～5年前より電子メールが日本でも使えるようになっていたのです。金沢大学でも少し遅れてBITNETとjunetの2つのメールシステムが使えるようになりました。この中でも使い方が最も簡単なBITNETについてほんの少し紹介します。

BITNETとは世界の大学・研究所を結ぶ世界最大のコンピュータ・ネットワークで、世界各地に電子メールを送る事ができるものです。例えば、アメリカの東海岸の大学でも1分程度の時間で着いてしまうもので、今日電

子メールを送れば、遅くとも明日の朝には返事が届くはず。時差の関係や英会話能力 (これは私の場合です。) の問題などを考慮すると電話などよりはるかに実用的です。1件当たりの料金も今の所、電話やFAXより格段に安く、金沢大学では1件の電子メールにつき10円だそうです。アメリカに電子メールを送って、その返事をもらってたったの20円 (距離に関係なく、送る場合も、受け取る場合も10円) ですから、国内に葉書を出すよりも安いのです。送った電子メールや受け取ったメールは、ファイルとして保存することもできますので、紙にも簡単に印刷することができます。また、電話のような基本料金も一切取られません。

このように、電子メールは電話やFAXよりはるかに便利で経済的なのですが、経済学部の教官の間ではあまり使われていないようです。数人の教官と外国から来られた先生や留学生が利用しているだけです。

電話・FAX (国内外を問わず) で研究費を圧迫している方はぜひ電子メールを使ってください。金沢大学では、総合情報処理センターに申請すれば、すぐに自分専用のアドレスがもらえます。使い方はいたって簡単ですから、その日のうちに使えるようになります。

電子メールが使いやすくなった人は、今すぐ、アドレスをもらいましょう。そして、電子メールのアドレスを印刷した横書きの名刺を作りましょう。

(金沢大学経済学部助手)